

令和6年度第1回「食と農の連携シンポジウム」開催要領

1 目 的

現在、国際競争力の低下や安全保障の観点から、国内資源の循環利用が重要な課題となっている。また、環境リスクを軽減しながら農業生産を保全し、地域再生に繋げる戦略も模索されている。特に、農業資材産業と再生エネルギーの議論が進展しており、これらは政策的な課題となっている。

今回の会議では、「食料安全保障をめぐる新たな課題と農業資材と再生エネルギーの活用」をテーマとして、気候変動や生態系の変化、資材産業の国際情勢、肥料法の改正、複合肥料の開発、再生エネルギーの活用、産直システムなどの説明や報告をとおして、効果的な戦略を探る。

2 日 時 令和6年12月17日(火) 午後1時30分～5時

3 開催方法 Zoom ウェビナーによるWEB開催

4 主催(予定) ちばの「食」産業連絡協議会、千葉県

5 協賛(予定) 国立大学法人千葉大学園芸学部

6 後援(予定) 一般社団法人千葉県農業会議、公益社団法人千葉県園芸協会(千葉県農山漁村発イノベーションサポートセンター)、一般社団法人千葉県農業協会、公益財団法人千葉県産業振興センター、一般社団法人千葉県商工会議所連合会、千葉県商工会連合会、千葉県中小企業団体中央会

7 参集者 市町村(農政、商工)、生産者・団体、農業協同組合、食品関連産業、消費者団体、国・検討関係機関・団体、大学等教育関係、主催団体の構成員(団体・企業)等

8 内 容

(1) 研究成果報告:「過去の気候変動から将来の生態系の変化を予測する」

報告:国立大学法人 千葉大学 副学長 百原新 氏

(2) 基調報告 :「食料安全保障と農業資材のイノベーション」

報告:国立大学法人 千葉大学 名誉教授 斎藤修 氏

(3) 講 演 1 :「肥料の資源循環のイノベーションー肥料の複合化と下水汚泥資源等の地域資源の活用」

講師:朝日アグリア株式会社 開発部長 小林新 氏

(4) 講 演 2 :「再生エネルギーと新たな産直システムの展開」

講師:株式会社パルシステム・リレーションズ 代表取締役社長 高橋宏通 氏

(5) パネルディスカッション:

コーディネーター:国立大学法人 千葉大学 名誉教授 斎藤修 氏

パネリスト:朝日アグリア(株) 開発部長 小林新 氏

パネリスト:(株)パルシステム・リレーションズ 代表取締役社長 高橋宏通 氏

8 申し込み・お問い合わせ

申込締切日【令和6年12月11日(水)】までに「ちば電子申請サービス」申込フォームまたは参加申込書にてお申込みください。後日、Zoom ID等をメールでお知らせします。

■申込フォーム：https://apply.e-tumo.jp/pref-chiba-u/offer/offerList_detail?tempSeq=37330

■お問い合わせ：ちばの「食」産業連絡協議会事務局

(千葉県農林水産部販売輸出戦略課内)

TEL:043-223-3085 FAX:043-227-8307

＼お申込みはこちらから／

